

# 竹内マツ植樹隊令和7年事業活動報告 & 今後の予定



令和7年11月吉日  
竹内マツ植樹隊  
発行責任者：足穂 豊



竹内西緑地の位置

会の運営財源は、会員の会費と個人・企業の寄付と境港市市民活動支援助成金、境港管理組合のアダプト制度助成金、国土緑化推進機構の緑の募金（森林整備・緑化推進）事業助成金。個人の寄付は1口1,000円。

## ご寄付のお願い

現在、同団体の会員数は60人で年間25回程度ボランティア活動を行っています。会員募集は、現会員を通じ随時実施。会費は年1,000円。環境美化や景観保全活動に関心あの方の入会を求めています。

## 植樹隊会員募集

昭和30年代の弓ヶ浜半島は白砂青松の景勝地でした。また、砂浜のあちらこちらで、地引網が行われ、夏は海水浴、魚釣り等子供たちの遊び場であり、楽しい思い出の場所でした。ところが、美しかった松林は、近年の異常気象の影響や松くい虫や塩害・雪害による被害により、枯れが進み、その結果人が入れないような雑木林となってしまいました。私たちは美しい白砂青松の景観を取り戻し子孫に伝えたいとの思いでボランティア団体を立ち上げました。（右写真）  
眞は初代会長 門脇眞澄氏



初代会長  
門脇眞澄

## 植樹隊の設立と目的

## 当隊の活動場所と現状

竹内西緑地の竹内町に接する部分の緑地（マツ林）  
【広さ】南北500m、東西110m、面積5700㎡  
【活動】平成25年5月から開墾開始し、25年度を第1期整備事業とし、年次的に対象部分の雑木林を開墾・整備・植樹を実施。  
【成果】5700㎡の雑木林を開墾・整備と7500本のクロマツと60本の桜の苗木の植樹をした。  
今年、20本の桜木と30本の松の苗木の補植を実施。敷地東側・承水路沿いの管理道路500mは桜木でつながり、桜並木が整備出来た。  
【将来の目標】南側500m先の夢みなと公園まで桜



上図：R7年4月9日桜の苗木廻り草刈で仕事始め。  
左図5月刈払い機で草刈。枝下ろし。



左側図：6月～7月頃まで草刈り作業。右側図：8月公共残土の場内小運搬と凸凹地への埋戻し・整備均し







左図：9月桜木植込み場所周辺の開墾・整備、マウンド造成20か所。右側図：枝下ろし、支柱用竹の切出し、枝下ろし・枯れ木の伐採、桜木20本の植樹。・・・今回10月までの公共残土は450m<sup>3</sup>搬入、枝下ろしマツの処分は境港管理組合。堆肥は30m<sup>3</sup>購入。・・・今後、来年5月までに200m<sup>3</sup>の土砂を搬入し凸凹地の埋戻し均す予定。



【マツ枯れ】40年前に植えた弓ヶ浜半島のクロマツも今年は、かなりの割合で枯れている。当会で植えた耐性クロマツも20本集団で枯れた。

【松枯れ予防】①線虫による感染、②昆虫からの防御、③熱波や乾燥対策・・・来年度は予防対策に取り組む



「会長挨拶」今回20本の桜木と30本のマツの苗木の植樹を行いました。この1本の桜の木が、マツの苗木が時代を越えて人々の心に残る風景になること信じております。

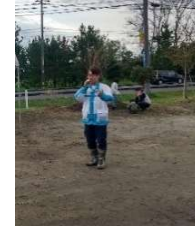


日時.. 11月1日(土) 9時30分  
場所.. 竹内西緑地内  
内容.. (1部)マツ・桜の植樹  
当日参加者は60人でマツ30本の記念植樹と桜の記念植樹を実施。  
(2部) 10時15分周辺の清掃活動

## 第13回植樹祭



令和7年11月1日第13回植樹祭



2部はJTさんの提唱する「ひろえば街が好きになる運動」で参

竹内マツ植樹隊は、白砂青松の松原の復元を目指します。上図は弓ヶ浜の砂浜から大山を望む。下図は23年6月25日境港南岸壁に着岸したMSCベリックス(全長316m、高さ67m、17万トン)の見送り

